

成人向け
For Adult Only



メモリス・モリ

死を記憶せよ



Klara Works

クララ・ワークス

2015.06 砲雷撃戦! よーい! 十七戦目

駆逐艦は先陣を切って
接敵すること多い

それ故損耗する可能性も高く



常に死を意識して
戦っている



そんな中狂っていく
艦娘も少なくない

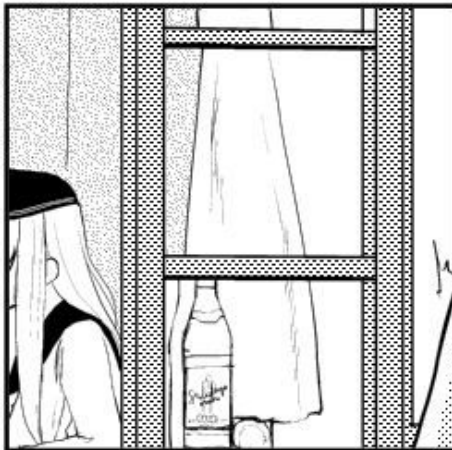




薬に溺れる者



習慣に溺れる者



性に溺れる者



酒に溺れる者



私と時雨も

そうなのかも
しれなかった



私は――

はじめは危険を克服し
戦果を上げることが
気持ちいいと思っていた



しかし戦いに
身を投じていく
うちに気づく

それが間違いで
あることに

死に強く魅入られて
いたのであった

時には被弾する
ことで死を感じる

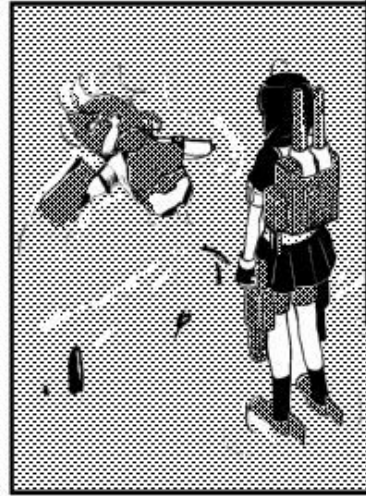
実際には砲弾の
嵐に身を晒し



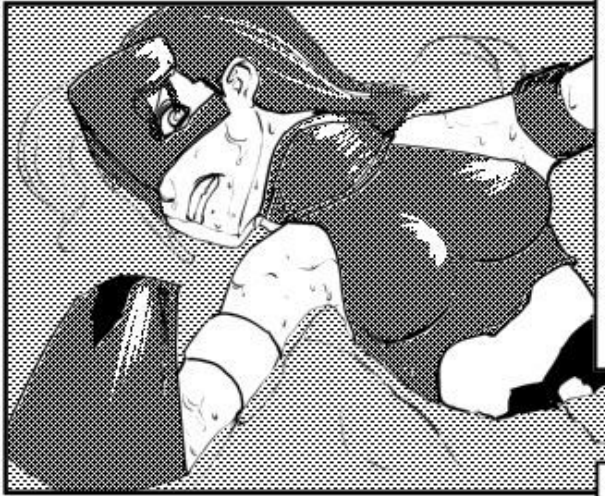


そして時雨は


私と真逆であった



彼女は深海樓艦を
沈めていくうちに



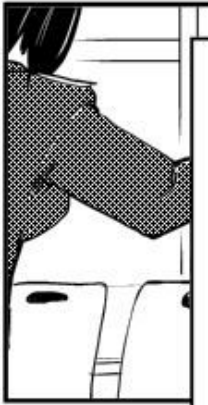
他者を痛めつける
事に快感を覚えていた



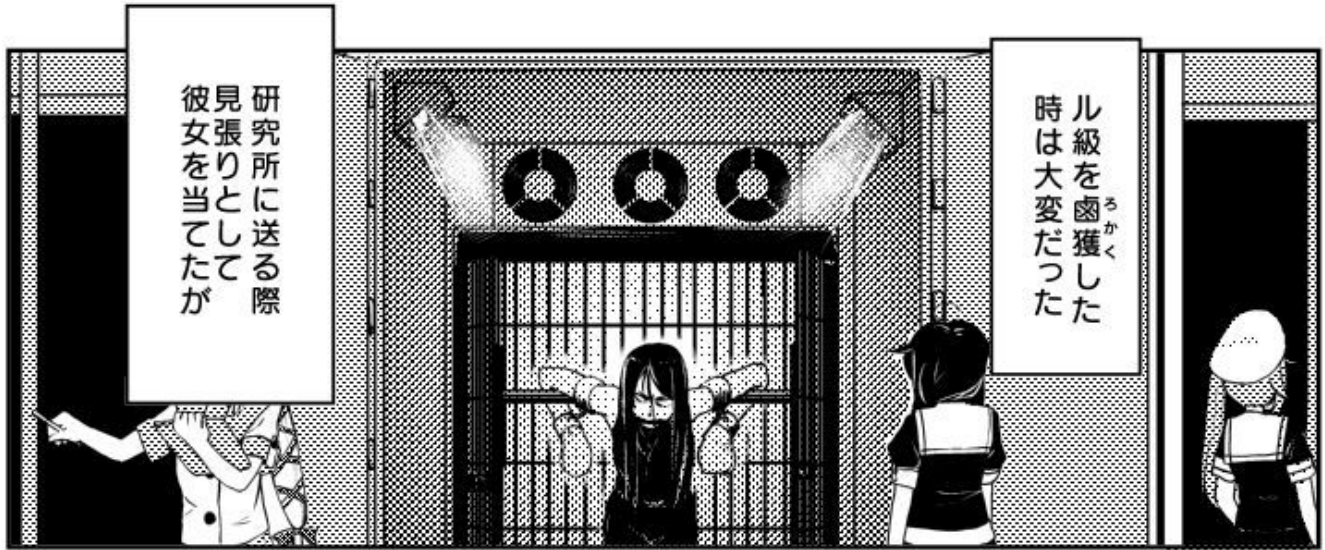
そしてそれは時として
味方にも向けられた



売られた喧嘩は
全て買い



目上の者だろうと
容赦なく襲いかかった
のだった



研究所に送る際
見張りとして
彼女を当てたが

ル級を鹵獲した
時は大変だった



他の艦娘が目を
話している隙に



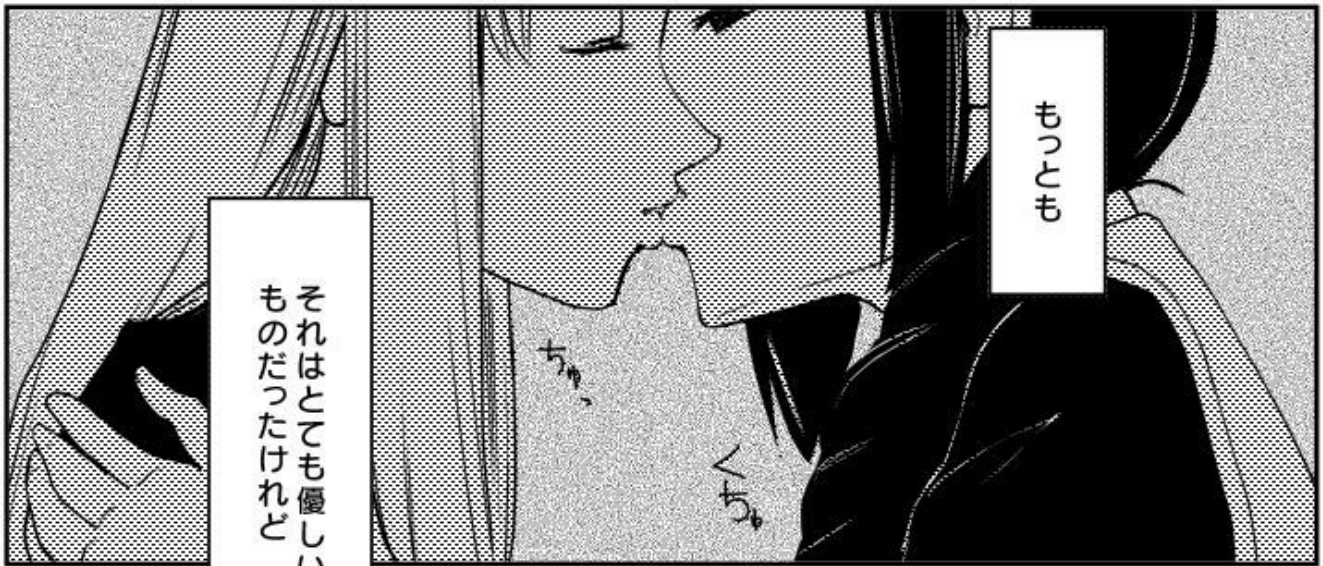
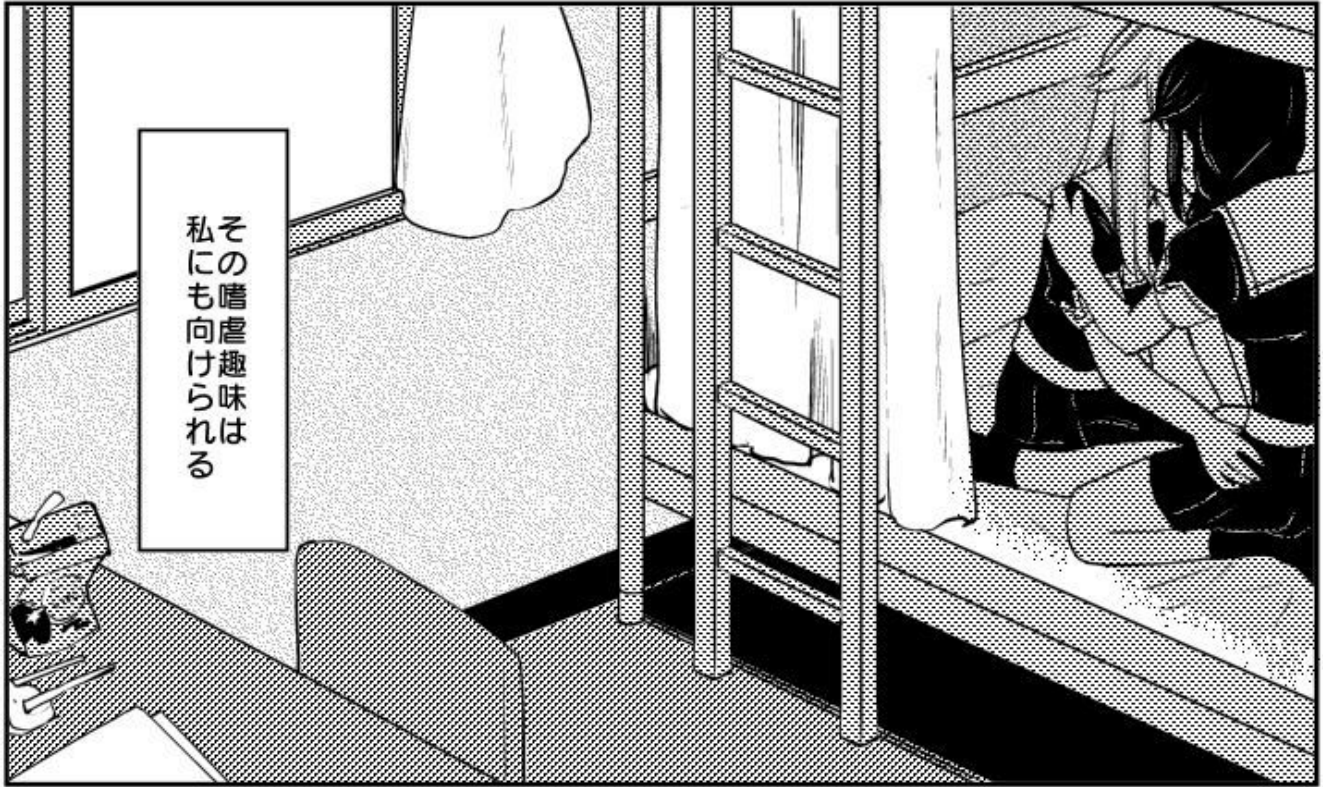
大事な研究対象を
死なせて大問題に
なったこともある

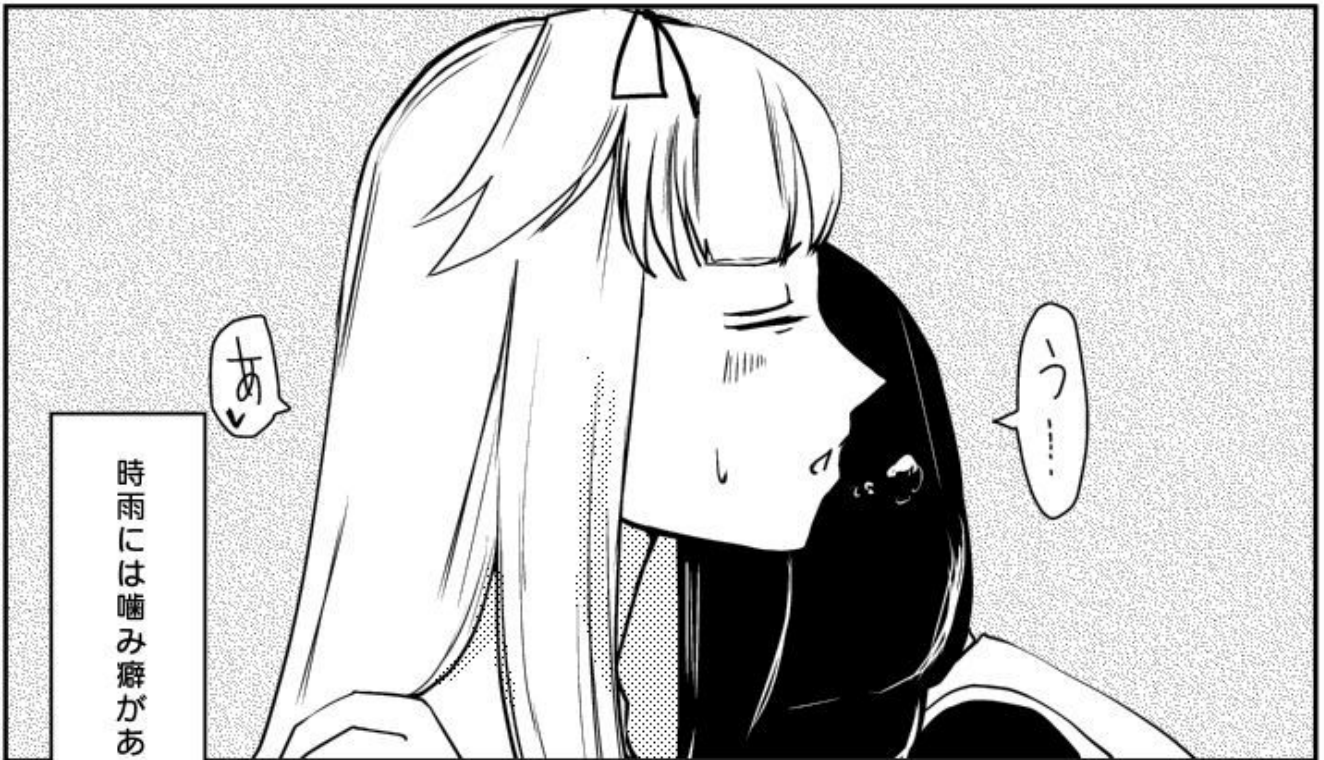
リンチ
私刑を加え



いずれの時も

退屈そうな笑みを
浮かべるだけだったそうだ







口にはいるものは
なんでも噛む

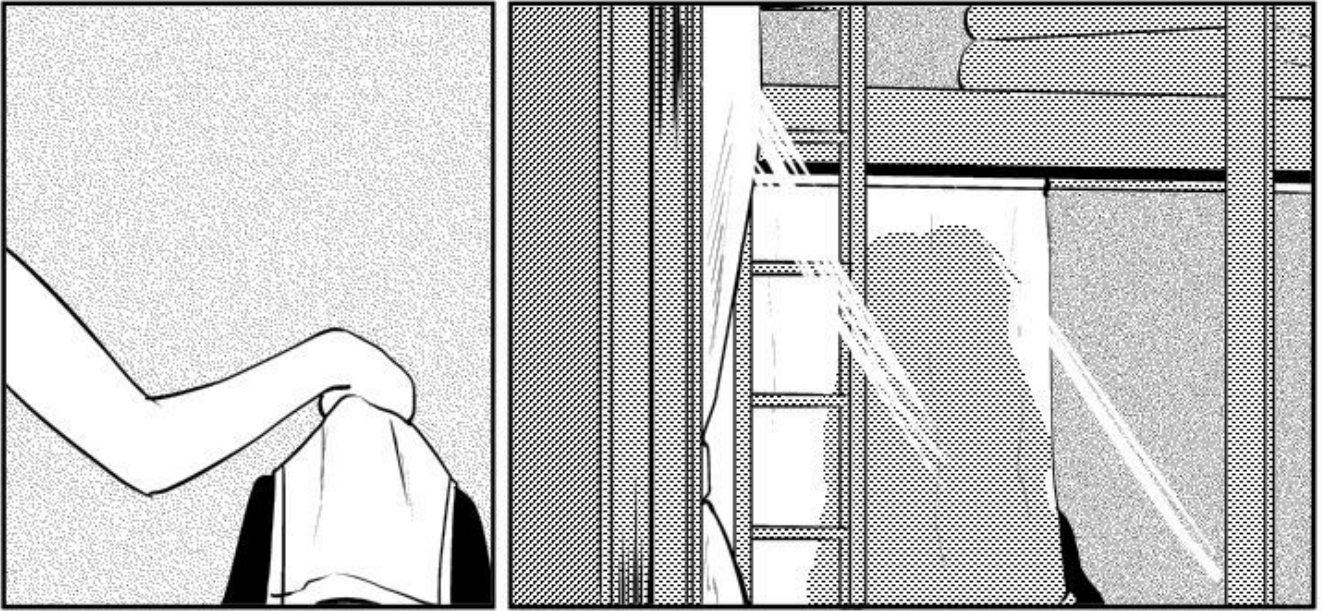
私の体



私は嬉しかった



時雨がどう思っ
て私の体に噛み付い
ているのであれ





こんな笑顔は

普段見ることが出来ない



時雨



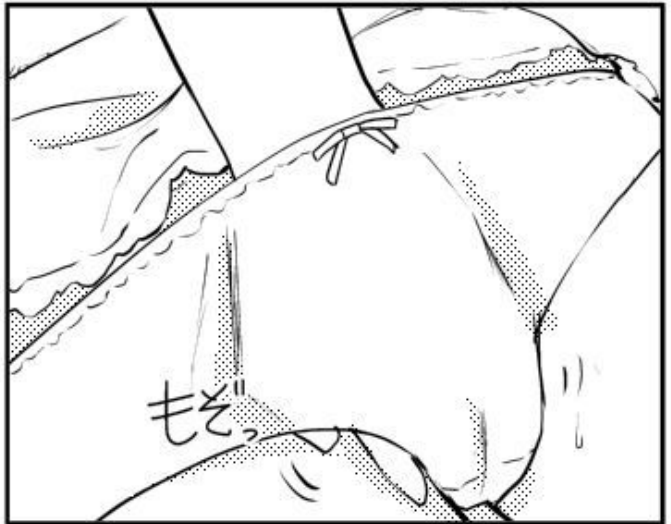
ほくもだよ

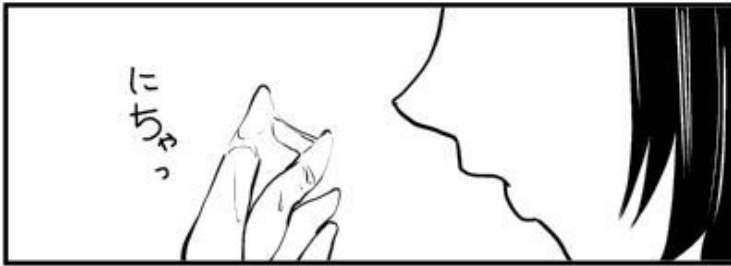
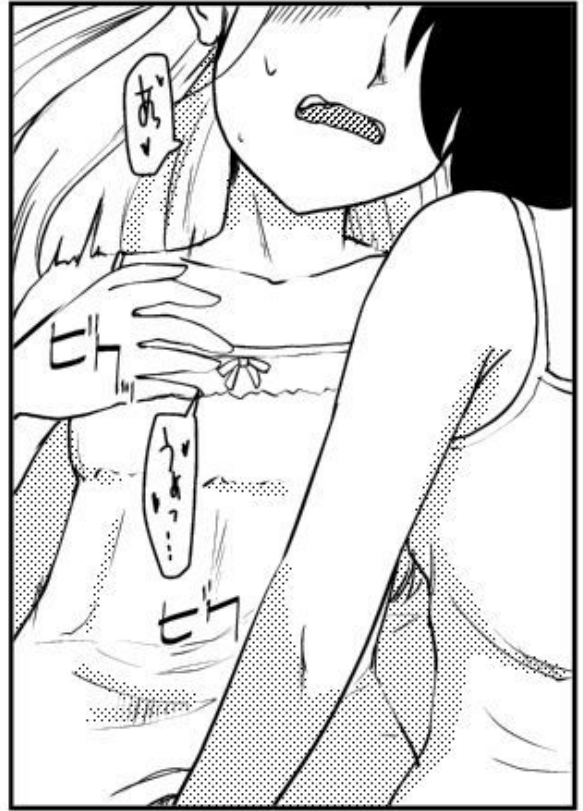
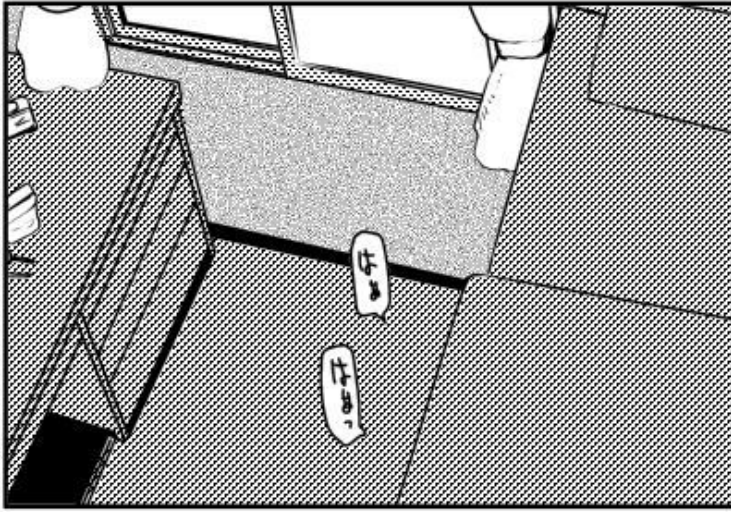


好き



私と二人きりでないと

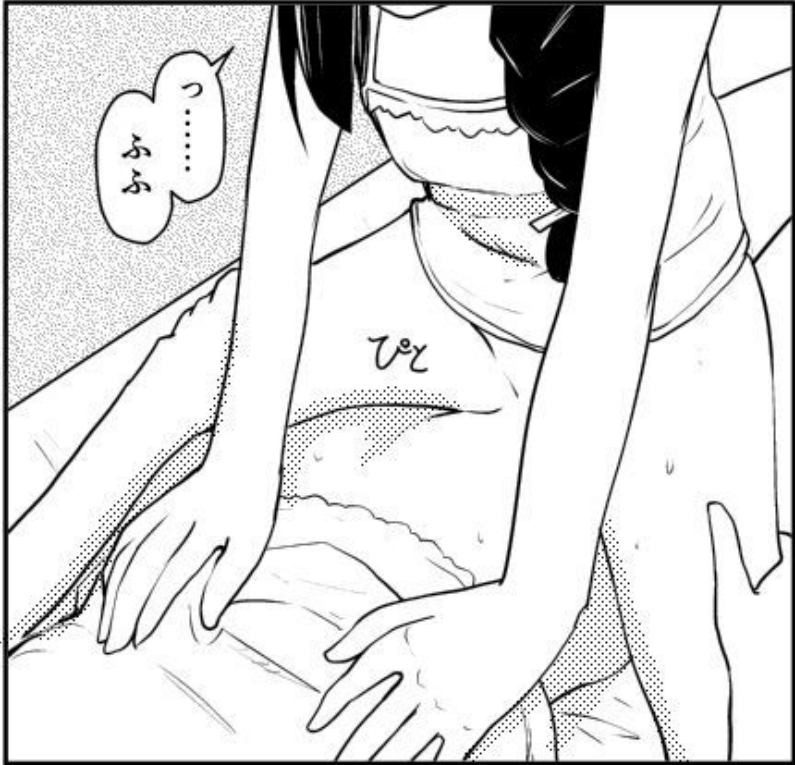
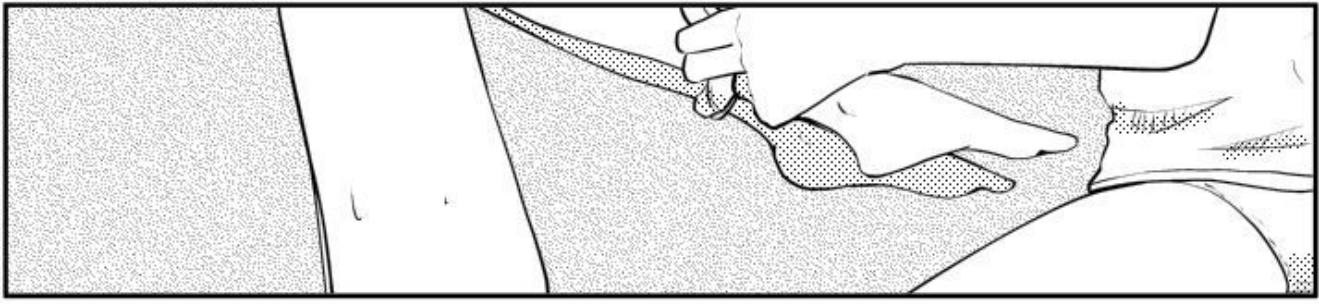




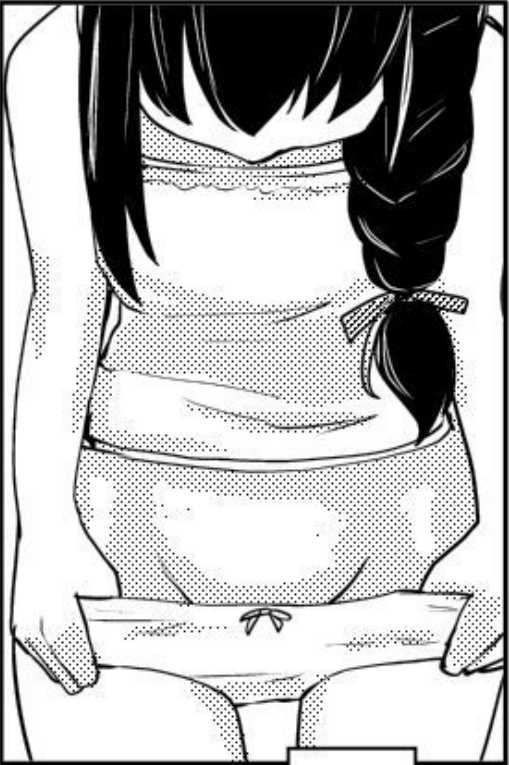


もちろんこれだけで
終わりではない

つう、



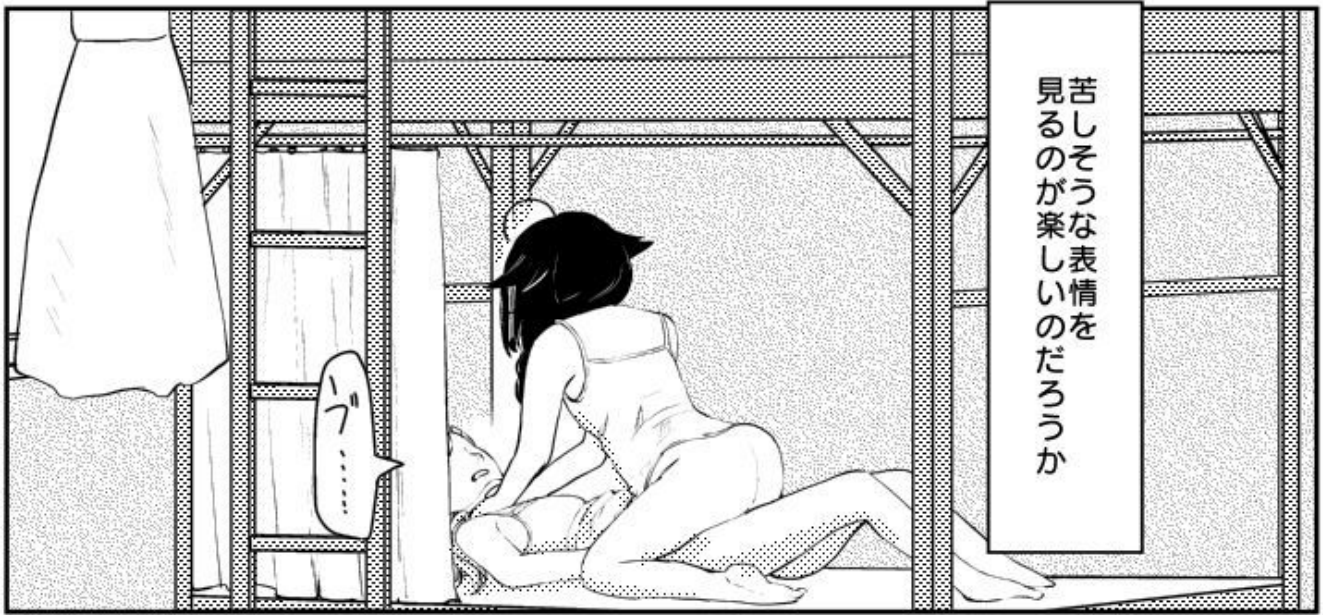
ふふふ
……



私の——

時雨はいつも
決まって





苦しそうな表情を
見るのが楽しいのだろうか



時雨はとても
嬉しそうな顔をする



私以外には決して
向けない

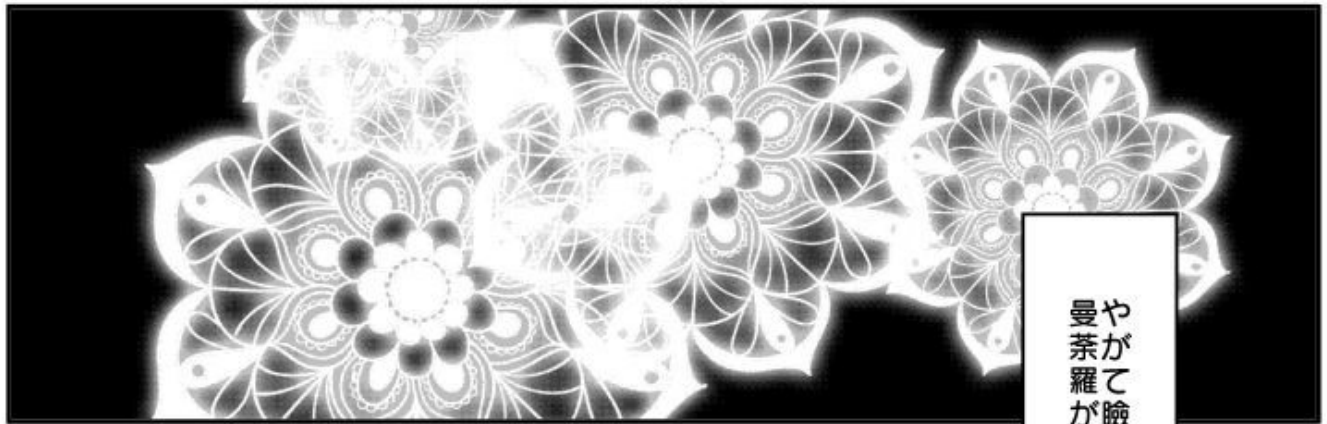
楽しそうな顔





まるで海に
沈んでゆく感覚

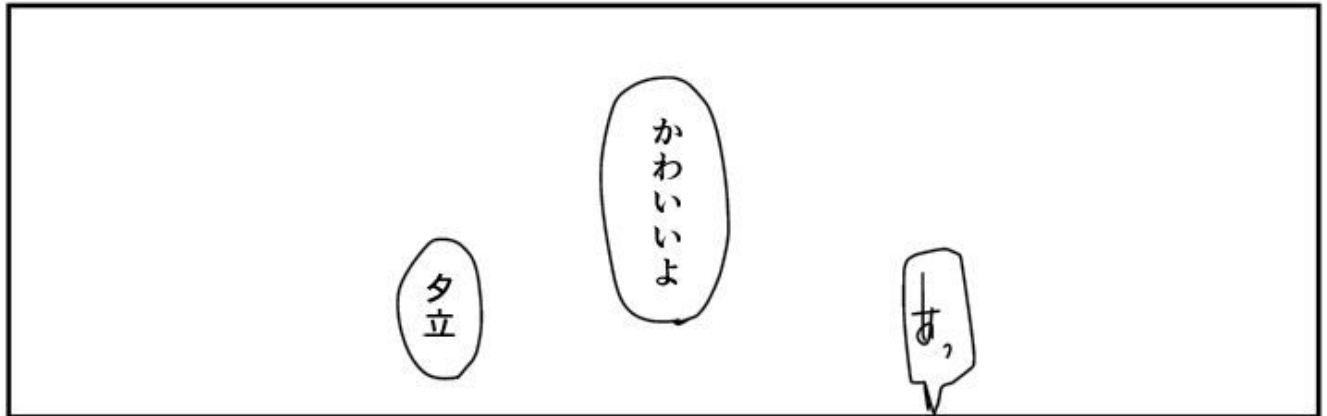
いつもそのように
感じていた



やがて瞼の裏に
曼荼羅が見えて



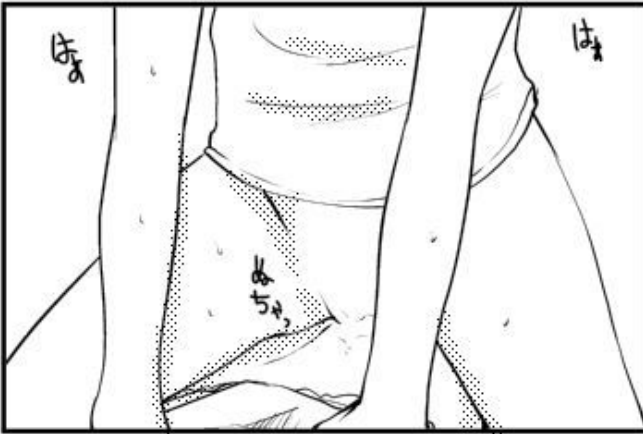
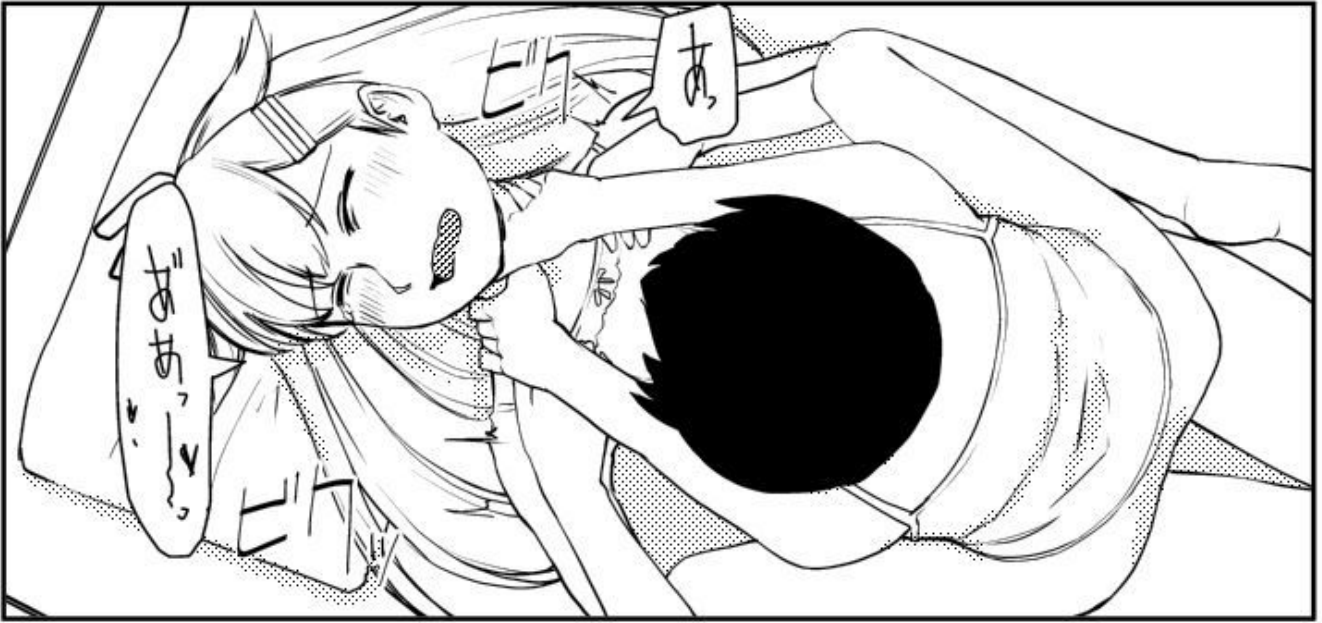
向こうから
光が――

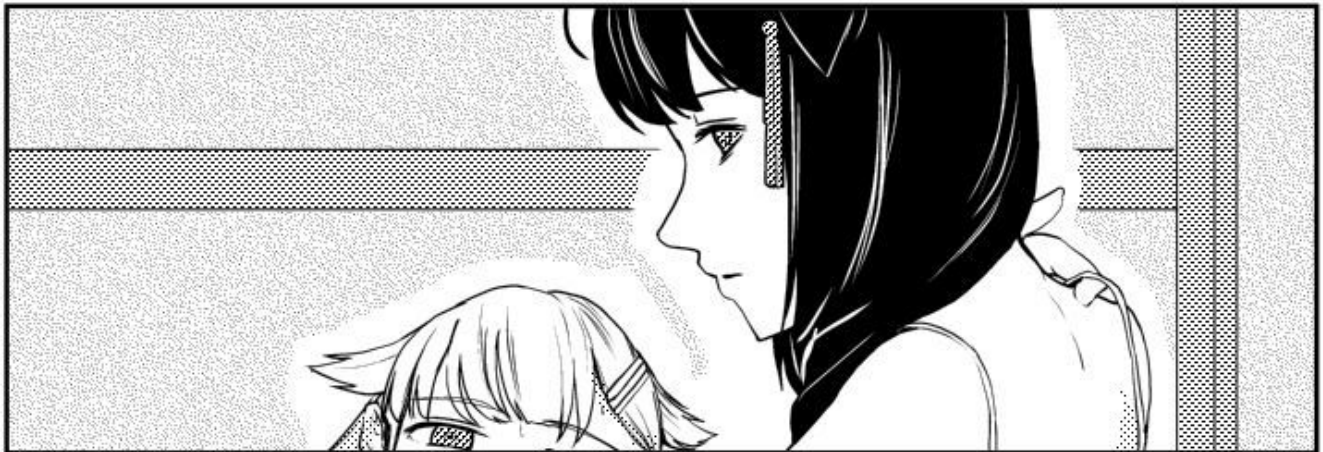
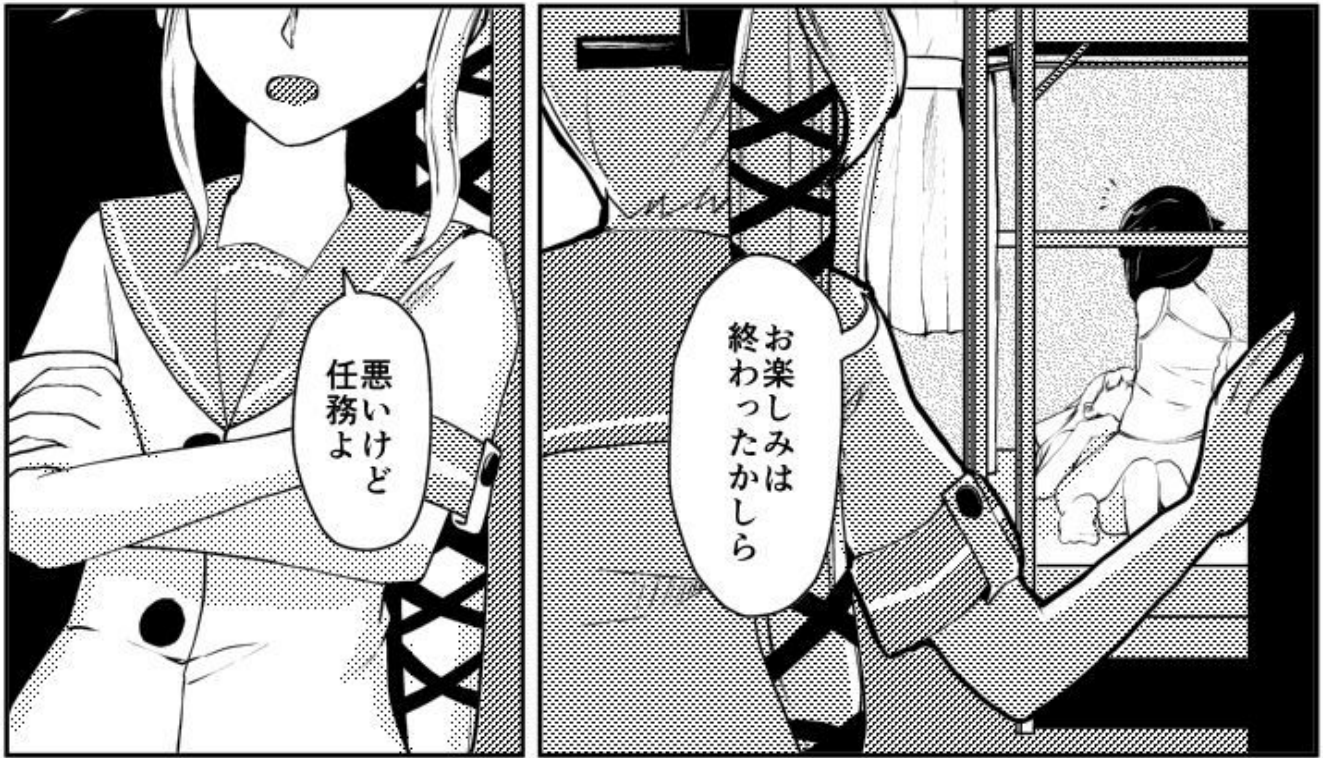
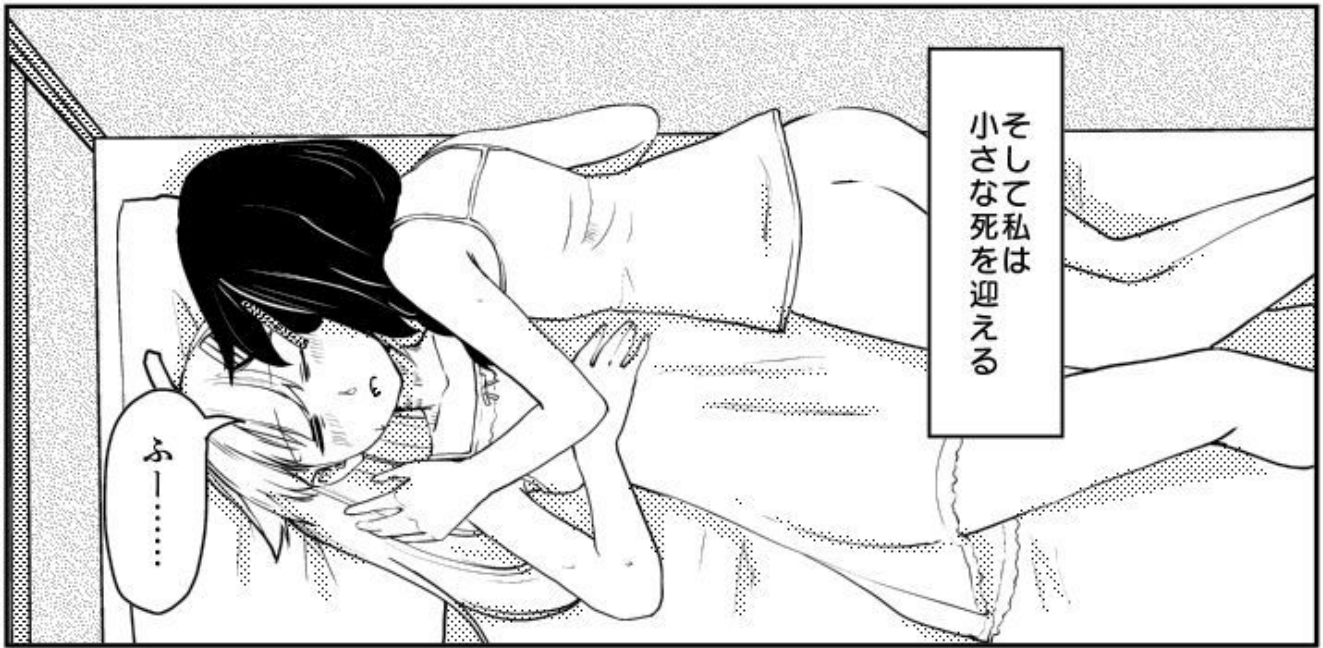


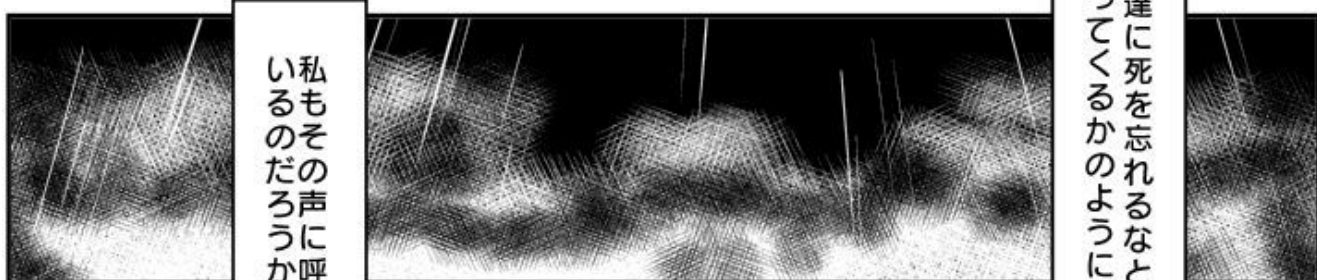
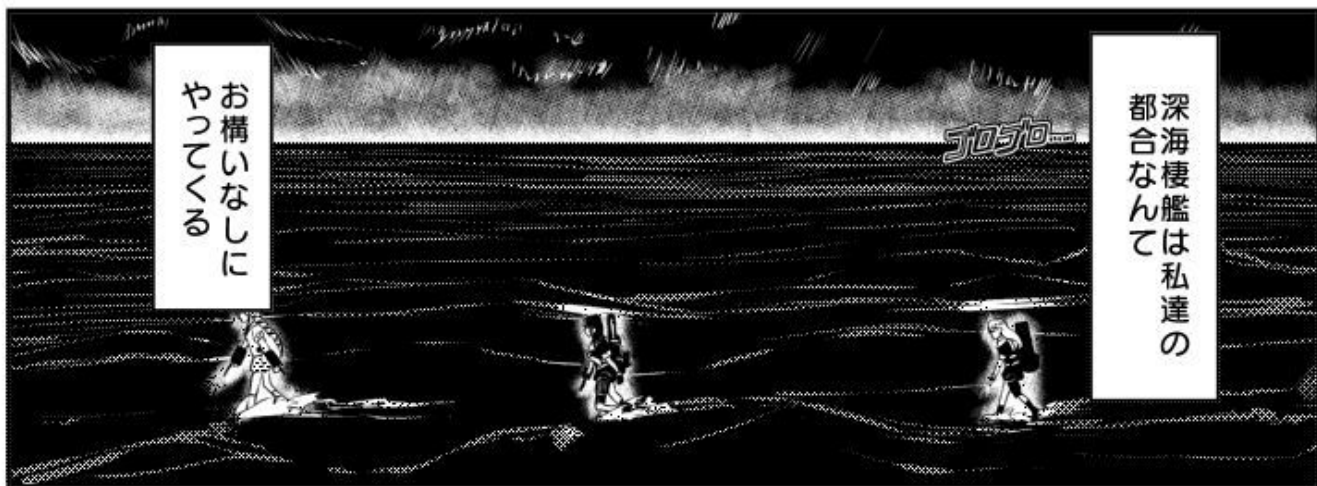
タ立

かわいいよ

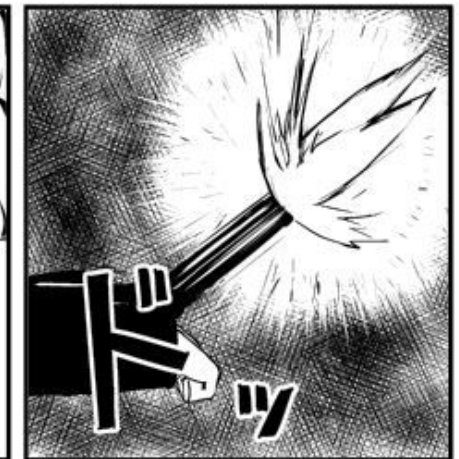
す、

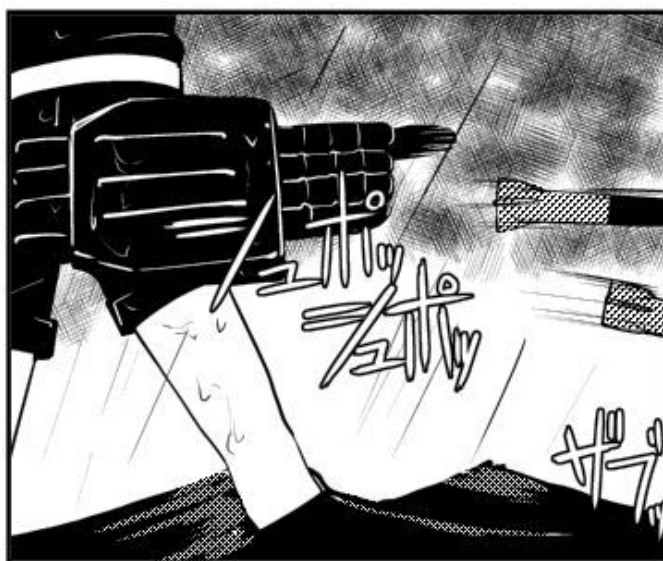


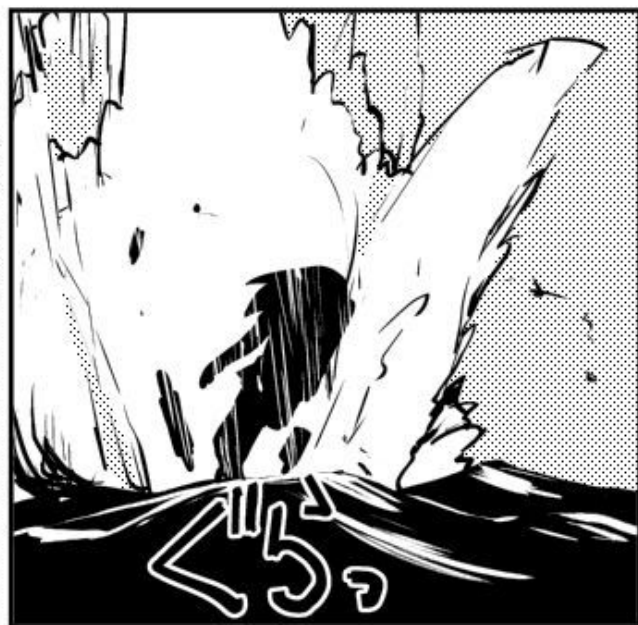












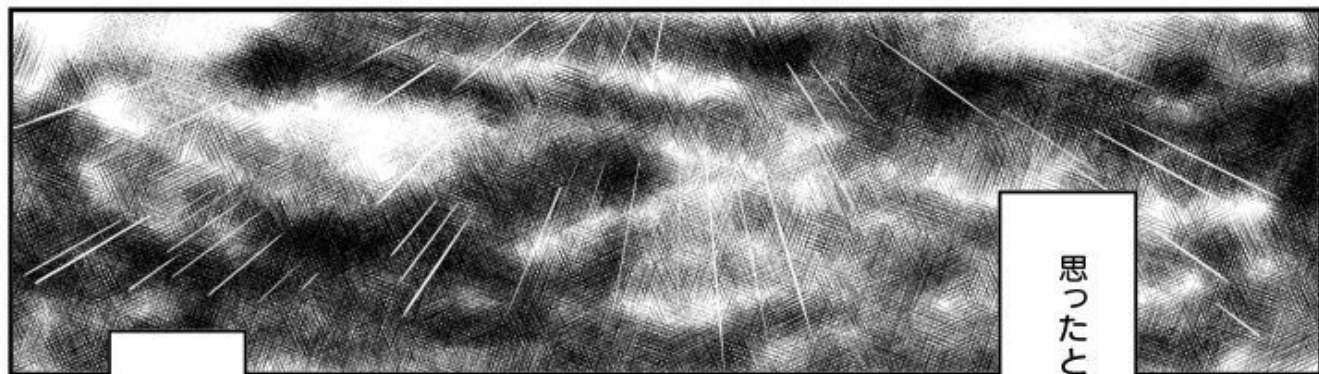


この感覚

ああそうだ



次第に現実から
離れてゆく



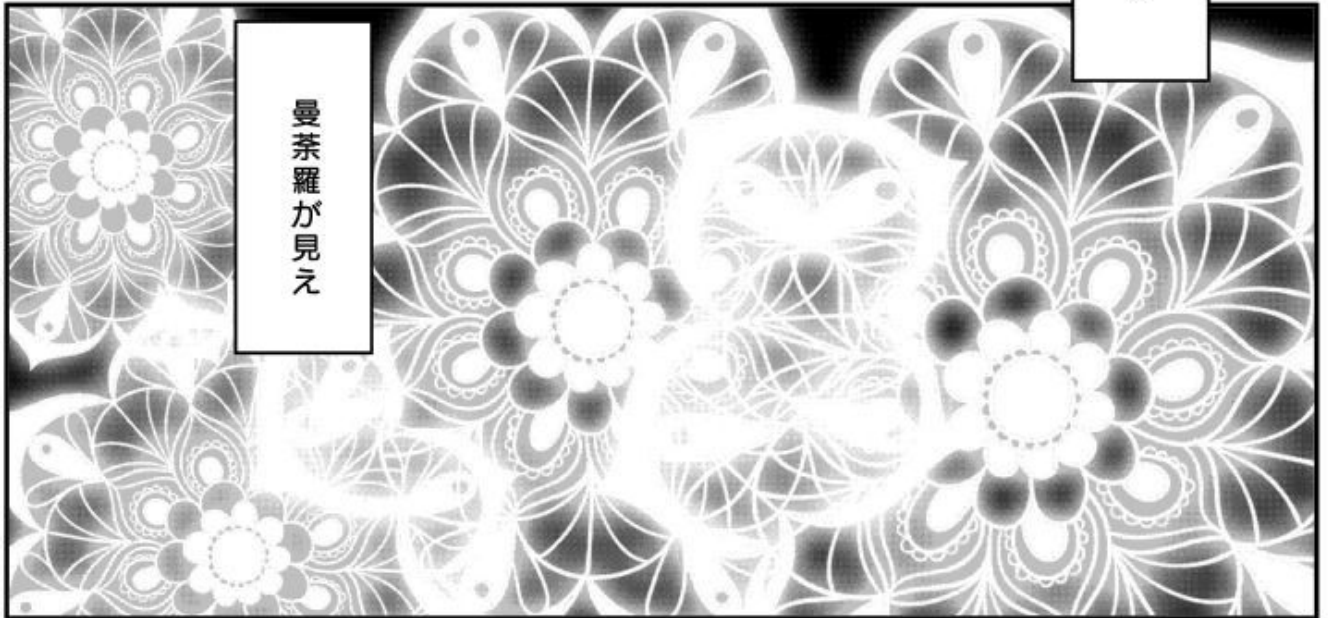
思ったとおりに



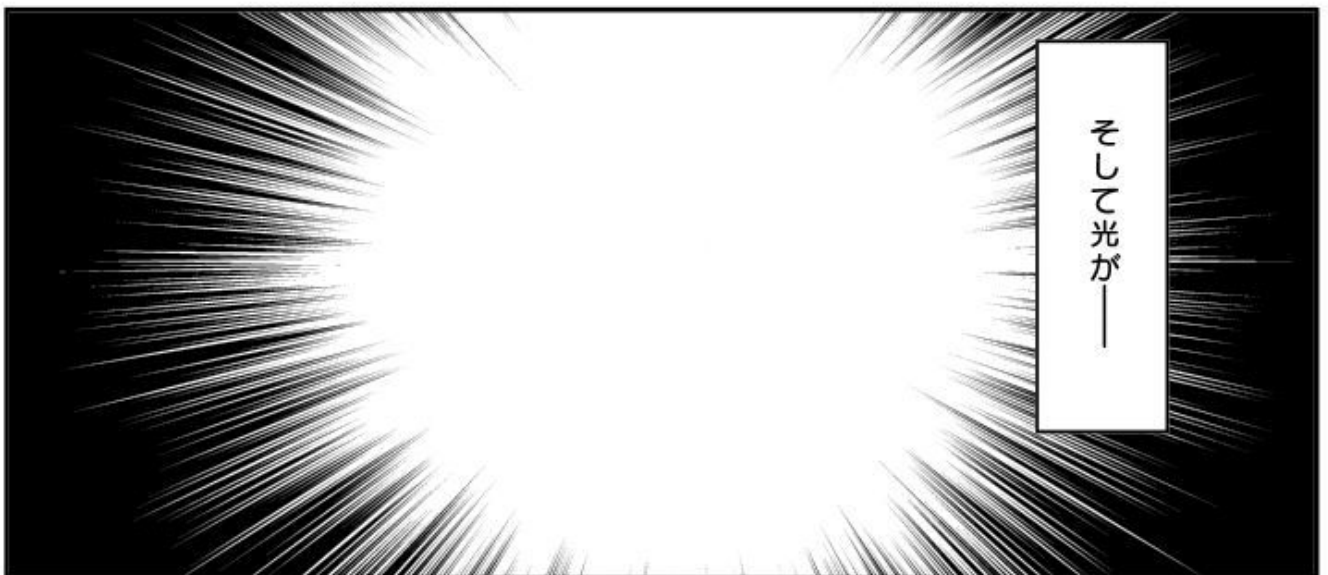
気持ちいい



視界が暗くなって



曼荼羅が見え



そして光が—







